

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



日造協ニュース 2019(平成)4月

通巻 第541号

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

第2回 通常理事会を開催

事業計画・収支予算(案)など審議・承認



第2回通常理事会の冒頭あいさつする和田会長

平成30年度第2回通常理事会を3月28日、東京都千代田区紀尾井町の都市計画協会会議室で開催し、平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)など4議案を審議・承認した。

第2回通常理事会は、まず和田新也会長があいさつ。「理事、監事の皆様には、年度末の大変お忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。また、国土交通省公園緑地・景観課長の古澤様には、公務ご多忙の中、ご臨席を賜り誠に有難うございます。常日頃から当協会に対しまして多大なご支援、ご協力をいただいていることに心から御礼申し上げます。私ども造園建設業界を取り巻く経営環境は担い手3法を契機に大きく改善の方向に向かっているものの、働き方改革への取り組みや、中長期的な担い手の育成・確保など、課題も山積しているところです。造園業界の明るい未来を切開くためには、従来からの事業の適切な実施に加え、他の業種分野にはない多面的な取り組みの展開等により、造園業界の発展基盤の強化を進めていく必要があると考えております。本日のご審議とともに、皆様方には、日造協の運営につきまして、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます」と述べた。

次いで、国土交通省からの情報提供と

して、古澤達也公園緑地・景観課長より平成31年度事業をご紹介いただいた。

議事では、①平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)など、3議案を審議・承認した。

なお、平成31年度事業計画では、①では、「造園技術、造園資材、造園工事施工の合理化及び造園業の経営の改善に関する調査研究」における6つの事業のひとつを「若年入職者等の確保策の検討」とし、「造園分野における特定技能の在留資格に係る制度への対応の検討」を進めるほか、「全国高等学校造園教育研究協議会との包括協定に基づき、効果的なインターンシップの実施について検討する」ととした。

そのほか、報告事項では、会長、業務執行理事より、職務執行状況についての報告を行い、また、事務局より、第45回全国造園デザインコンクールの実施結果、全国造園フェスティバル2018の結果報告、平成30年度資格制度の実施報告、日造協年間スケジュールについて、報告を行った。

新元号「令和」(れいわ) 初春の令月…風和らぐ…

5月1日の皇太子殿下、天皇御即位のその日以降に用いられる新しい元号が4月1日に発表された。

新しい元号は「令和」(れいわ、Reiwa)で、安倍内閣総理大臣は4月1日の記者会見で、万葉集にある「初春の令月にして 気淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫す」の文言から引用したもので、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められている。また、いかに時代が移ろうとも、日本には決して色あ

せることのない価値があると思う。今回はそうした思いの中で歴史上初めて国書を典拠とする元号に決定したとした。

人事異動

国土交通省都市局関係（3月31日付）
辞職（岐阜県都市公園整備局長）=湯沢将憲（都市計画課環境計画調整官）
（4月1日付）
都市計画課環境計画調整官=鹿野央（神奈川県大規模公園担当部長）

本号の主な内容

2面 平成31年度事業計画の概要

【学会の目・眼・芽】(公社)日本造園学会理事、

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 大黒俊哉

2、3面 地域リーダーズ勉強会開催 総勢209名活気に満ちた交流はかかる

近畿総支部 地域リーダーズ 筒井秀樹

4面 【ふるさと自慢】富山県支部 紙屋由加（富山県支部事務局）

地元でしか味わえない一品と夜景が自慢の海王丸パーク

【緑滴】福岡県支部 吉川香奈子（木下緑化建設株）

私のリフレッシュ方法

(一社)日本造園建設業協会理事
(株)園建 代表取締役 嘉屋幸浩

樹林

北海道命名150年とみどり

昨年、平成30年は北海道命名150年を迎える記念の年でした。北海道を中心となり各団体や企業などが協賛し、様々なイベントが一年を通して道内各地で開かれました。

一番大きなイベントとしては、天皇陛下と皇后さまが来道され参加された記念式典でした。

◆
北海道の命名について少し紹介します。

「北海道の名付け親」と言われているのが松浦武四郎という人物です。武四郎が初めて蝦夷地に渡ったのは1845年(弘化2年)、28歳のときでした。

長崎でロシアが勢力を広げるために蝦夷地を狙っていることを知り、日本の危機を感じた武四郎は、自ら蝦夷地を調べ、その様子を多くの人に伝えようと決意。以降、1858年までの間に計6回探査に訪れました。

3回目までは一探検家として蝦夷地を探査し、多くの報告書や地図をまとめました。それを評価した江戸幕府は武四郎を雇い入れ、4回目以降は幕府の命を受け、探査の任務にあたりました。

その際、武四郎は蝦夷地で暮らすアイヌの人々の協力を得て、寝食をともにする中でアイヌ文化に触れ、その文化や生活を紹介することにも力を注ぎました。

◆
時代は江戸から明治へ移り変わり、武四郎は、蝦夷地に詳しい第一人者として明治政府の一員となり、開拓使の役人として、1869年(明治2年)7月17日に蝦夷地に代わる名称の提案を明治政府へ行いました。

その候補にあがつたのが「北加伊道」「日高見道」「海北道」「海島道」「東北道」

「千島道」の6案でした。

最終的に「北加伊道」の「加伊」が「海」となって、同年8月15日に現在の「北海道」と命名されました。

武四郎は幕末に出版した「天塩日誌」の中で、天塩川流域を調査した際に出会ったアイヌの長老アエトモから、「カイ」という言葉には、この地で生まれたものという意味がある」と教えられたと記しており、「北加伊道」にその意味を込めたと言われています。

◆
アイヌの関連で言えば、2020年白老ポロト湖畔に国立民族共生公園がオープンします。自然豊かな景観を活用した憩いの場で、新たな北海道の名所となります。

1888年(明治21年)に建てられた赤レンガ庁舎の愛称で知られる北海道庁旧本庁舎の前に札幌市内で初めて舗装がほどこされた道路があります。

舗装完成記念として翌年の1925年に両脇に植えられたイチョウ並木は北海道最古の街路樹と言われていて、今もなお市民や観光客の目を楽しませていて貴重な観光資源にもなっています。

◆
札幌に日本最古の都市公園と言われている偕楽園もあり、(現在は偕楽園緑地)このように100年以上続く景観が守り育てられて来て、私たちの身近なところに自然にあることがどんなに素晴らしいことか。

私たちは、新たな100年後の景観を作るために担い手を育て、技術を磨き、身近にその景観のあることが、どんなに大切なことを、訴えていかなければならぬと思い、私にとって昨年の北海道命名150年という年は、改めて造園建設業の使命を考えさせられる区切りの年となりました。

国土交通大学建築科長=西山正倫(景観・歴史文化環境整備室課長補佐)
景観・歴史文化環境整備室課長補佐=竹之内優(住環境整備室課長補佐)

令和元年

通常総会

講演会・意見交換会

6月21日(金)14:30~

ホテルグランドアーク半蔵門

東京都千代田区隼町1-1

☎ 03-3288-0111

会員の皆様のご参加をお願いいたします。

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！

平成31年度 事業計画の概要

平成30年度第2回通常理事会（記事1面）で、平成31年度事業計画（案）を審議・承認しました。本号では、事業計画について、I全文、II項目のみご紹介します。

I. 造園建設業を取り巻く状況と基本的対応方向

(1) 造園建設業を取り巻く状況と課題

造園建設業界を取り巻く近年の状況は、国内景気の緩やかな回復基調が続き、公共事業についても、日造協が要望・提言活動として取組んできた労務費単価の改善やダンピング対策の強化等の措置が「担い手3法」を契機に進められるなど受注環境の改善が着実に進んできている。

しかしながら、今後の事業量確保の見通しは依然として不透明な局面が続き、加えて、わが国の喫緊の課題である人口減少、高齢化の進展による技術・技能者の高齢化や若年入職者の減少、新規入職者の離職により技術・技能の承継が困難になる等の構造的な問題が顕在化してきている。

(2) 諸課題への対応方向

このような状況下において、私たちは、時代を先取りし、担い手の育成・確保や造園力（ゆるぎない技術力・洗練された文化力・豊かな創造力）の向上に力を注ぎ、また「造園」の社会認知度の向上の取組みや造園力の発揮機会の拡大・受注環境の改善等の要望・提言活動の展開を図りつつ、国民の要望に的確に応え、人と自然が共生する緑豊かな持続可能な社会の形成に貢献し、次世代に継承する社会的使命を果たす必要がある。

とりわけ、担い手の育成・確保に向けては、若年入職者をはじめ誰もが安心して健康に働くことができる環境の形成を目指し、建設業における「働き方改革」等を踏まえ、法定福利費の確保・社会保険等の加入促進、長時間労働の是正、週休2日の推進、安全衛生の徹底、女性活躍環境の構築、適正賃金の確保、生産性の向上、特定技能の在留資格に係る制度等に取り組み、雇用環境の改善を精力的に進める必要がある。

造園力の向上に向けては、少子・高齢化、国際化、高度情報化、生物多様性の主流化など経済社会の潮流の変化や国土強靭化、地域創生、観光振興、スポーツ振興、都市公園整備・管理へ

の民間参入機会の拡大等の政策動向を踏まえつつ、中長期的な観点から造園建設業が今後とも担うべき以下の視点に立って各種事業の企画立案、的確な実施に取り組み、造園建設業の明るい未来を切開く基盤の構築を図る必要がある。

●「地域維持の担い手」として他の建設業種にはない業態や技術の特性を活かした災害復旧・復興支援活動の推進

●「緑の創造・維持・再生の担い手」として公園・緑地や道路緑地などの効率的な整備・管理・運営への対応力の強化

●「伝統的文化の継承の担い手」としてインバウンドの促進に向けた海外日本庭園の保全再生の支援

また、東日本大震災をはじめとする大規模自然災害からの復旧・復興事業の推進、国土強靭化政策による防災・減災対策の実施、2020年東京オリンピック

ク・パラリンピック等国家的プロジェクトの開催会場の整備、国際園芸博覽会の誘致支援や全国都市緑化フェアの開催支援、外国人観光客にとって魅力ある日本の四季の豊かさ活かした「おもてなし」環境の整備等に造園建設業界の英知と造園力を結集し、取組んで行く必要がある。

(3) 平成31年度事業の実施方針

平成31年度の事業に当たっては、諸課題への対応方向を踏まえ、以下の事項に重点を置いて取組む。

●担い手の育成・確保、働き方改革への対応

●造園力の発揮機会の拡大

●資格制度の実施と各種資格の取得の促進

●安全衛生対策の推進

●国際交流・協力の推進

●東日本大震災復興事業・熊本地震災害復興事業等への支援

●会員拡大プロジェクトの推進

この場合、「第3次財政・運営中期計画」（平成30年3月30日理事会承認）に沿って財政・事業・組織運営を図る。

II. 平成31年度事業計画

第1 主要な会務の実施

総会・理事会の決議等に基づき、財政基盤の強化、総支部・支部の役割分担の一層の徹底・連携等による効率的・効果的な事業・組織運営に取組む。

1. 総会
2. 理事会
3. 総支部長・支部長合同会議
4. 会員拡大プロジェクトの推進

第2 造園技術、造園資材、造園工事施工の合理化及び造園業の経営の改善に関する調査研究

1. 造園施工技術、造園工事の安全対策の検討
2. 植栽基盤技術、植栽育成管理技術、造園関連資材の品質基準等の検討
3. 街路樹剪定等に関する調査研究
4. 会員の実態調査

第5 造園業に関する情報、資料の収集、提供

1. 技術・技能の向上、経営の改善等に向けた情報提供
2. 造園技術フォーラム等による技術情報の共有化
3. 安全衛生対策の推進
4. 行政情報等の提供
5. 会員名簿の発行

第6 関係行政庁その他関係機関への政策提言、建議、要望等

1. 要望・提言活動
2. 行政との意見交換会

第7 造園技術者及び技能者の養成、資格の認定並びに研究会、講習会等の開催

1. 技能五輪大会等への参加、協力
2. 第46回全国造園デザインコンクールの実施
3. 担い手の育成・確保のための行動計画の推進
4. 造園技術に関する資格認定事業等
5. 研修会等の開催
6. 会員のための福利厚生事業及び会員支援事業

第8 造園・環境緑化に関する普及啓発及び広報活動並びに機関紙、図書の刊行

1. 全国造園フェスティバル等の開催
2. 機関紙の発行等
3. 図書の刊行
4. メールニュースの配信

第9 その他本会の目的を達成するため必要な事業

1. 社会貢献活動への取り組み
2. 造園・環境緑化産業振興会の活動
3. 表彰
4. 雇用改善事業等

第10 安心で安全な国土形成への支援活動事業

1. 東日本大震災復興事業
2. 熊本地震災害復旧・復興事業
3. 防災協定の締結推進

学会の目・眼・芽 第96回

国際化と社会連携

（公社）日本造園学会理事、東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 大黒 俊哉

少し前の話になるが、昨年6月、中国の蘇州で第20回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM20）が開催された。

TEMMとは、日本、中国、韓国の三カ国が、北東アジアの環境問題の解決に向けて主導的な役割を果たすとともに、地球規模での環境改善に寄与することを目指して1999年に始まった会合である。

以来、三カ国の政治的関係は必ずしも常に順調というわけではなかったが、この会合は一度も滞ることなく開催され、昨年20回目の記念すべき節目を迎えた。

このことは、環境問題解決のために

は地理的に隣接した三カ国の連携が不可欠であることを示している。



日中韓の連携・協力はまた、当学会でも最も重要な国際連携の枠組みの一つである。

日本造園学会、中国風景園林学会、韓国造景学会の専門家が集う「日中韓国際ランドスケープ専門家会議」は、各国持ち回りで2年おきに開催され、昨年10月には16回目の会合が韓国のソウルで開かれた。

私も国際担当理事としてこの会議に参加し、地理的なつながりに加え、歴史的、文化的にも密接な関係を持つ三

カ国が学術的な交流を持つことの意義をあらためて強く認識した。



しかしながら、あらゆる分野でグローバル化が進む現在、日中韓や東アジアという枠を超えた国際連携も同時に必要であることはいうまでもない。

たとえばTEMMの活動においても、私が10年ほど関わっている黄砂共同研究では、モンゴルを加えた「スリー・プラス・ワン」による取り組みが検討されている。

日中韓ランドスケープ専門家会議でも、前々回の日本大会以降、成長著しい東南アジア諸国との交流拡大も視野に入れた、さらなる国際化の検討が進められつつある。



そもそも、学会のあらゆる活動において国際化が当たり前となっている

中、ことさら国際化を強調すること自体、時代遅れなのかもしれない。

むしろ、国際化の原点に立ち返ったうえで、真に必要な活動を再構築していくことが大事なのではないか？

国際化の本質は、異なる文化、立場、生き方に対する理解を通じて、共存・共生・相互発展の方途を探るプロセスであり、その相手は日本の外だけとは限らない。



こうした考えに基づいて、当学会では、これまでの「国際」委員会を発展的に再編し、広く産・官・学・民・NPOなどを含む国内外の組織・機関との「社会連携」を目指す委員会を設置する方向で準備を進めている。

新たな軸足を持った当学会の今後の活動にご期待いただきたい。

地域リーダーズ勉強会開催 総勢 209 名 活気に満ちた交流はかる

2月12日にウェスティン都ホテル京都において地域リーダーズ勉強会を開催し、9回目を迎えた今回は、総勢209名の参加がありました。

今年より女性活躍推進部会やお子様連れのメンバーも加わり、より活発な雰囲気の中始まりました。

◆
第1部は京都街路樹剪定士会の加藤嘉基会長から、京都市内の美しい並木景観を守るために、また美しい紅葉を見られるようにするため「京都景観剪定（二段階剪定）」について講演をしていただきました。

課題面では、限られた予算内での剪定時期・回数の工夫など。また剪定士会では年1回の剪定講習会の開催、京都市との「景観パトロール」の実施により剪定状況の確認・調整、時には指導まで行い、京都の美しい並木を維持されているとのことでした。

◆
第2部では女性活躍推進部会の酒井一江部会長により、「女性雇用促進について」の講演で、女性が就業継続できない理由、その解決のための企業サイドの就業条件の見直しや、コミュニティラボの設置等の提案をお聞きして、改めて自分も子育てへの協力や参加、また女性就業への理解の再確認ができたと思います。

◆
第3部は京都大学名誉教授で京都市都市緑化協会の森本幸裕理事長より、「雨庭について」の講演で、雨庭が海外で下水の負担軽減、水質浄化等を目的として生み出されたが、現在では洪水などの防災・減災・ヒートアイランド現象の緩和などの「グリーンインフラ」として欠かせない施設となっているとのこと。

また、日本庭園には昔から集水・貯留・浸透の仕組みを持つ要素があり、枯山水・蹲踞・水琴窟の中にも雨庭と考えられるものがあると興味深い話を聞きしました。



2日目の見学会のようす



初日の講演会のようす

た。

雨庭は、住宅の庭・企業の敷地・公共の場・屋上等の多様な場所に設置でき、同時にインフラ整備もできてしまう、将来期待できる施設となります。

2日目は見学会を開催

2日目の13日は、施設の都合上120名限定で、植彌加藤造園㈱が管理されている無鄰菴と對龍山荘を見学させていただきました。

無鄰菴では、解説者から庭園の歴史や文化、京都の風土を交えながら説明いただき、今までと違う見方ができました。

そして庭園の景色を育む管理に努められ、無鄰菴の魅力を引き出すいろいろな催しも行われていて、また足を運びたくなる名勝であると感激しました。

◆
對龍山荘は、七代小川治兵衛が手掛け現在㈱ニトリが所有する非公開の庭で、今回建物の見学もさせていただき、窓ガラス一枚から柱の1本まで歴史的価値を感じるものであり、貯蔵品に関しても

素晴らしいものばかりでした。

東山を借景として雄大な景色の中、流れ・滝・池などの水景も広がり、建物を含めた一体感には感動させられました。

また将来を見据えた庭園管理を行い、歴史的建築物と名勝を大切に維持されていることに感銘を受けました。

◆
今回の勉強会は、近畿総支部や京都府支部をはじめ多くの方々にご協力いただき終えることができました。改めて感謝いたします。

また今回学んだことや課題を、今後の地域リーダーズ活動に活かし、ますます活発で新しい仲間も増えるように努力するとともに、総支部間の交流にとどまらず、支部同士の交流も活発にしたいと思っています。

次回は10月に北海道で開催予定です。また今回参加された仲間や新しい仲間にお会いできることを楽しみにしています。

近畿総支部 地域リーダーズ 筒井 秀樹

信州花フェスタ 2019

4.25～6.16 長野県松本平広域公園などで開催

第36回全国都市緑化信州フェアが2019年4月25日(木)～6月16日(日)までの53日間、長野県松本平広域公園(信州スカイパーク)をメイン会場に開催されます。

今回の全国都市緑化フェアには、日造協が主催する第45回全国造園デザインコンクールの特別賞など、同コンクールを紹介する「みどりの広場」が設けられ、この広場のプランも高校1,2年生を応募対象とした緑化フェア「みどりの広場」プラン賞受賞作を受賞校の山梨県、フェア開催地の長野県の日造協支部・会員が

協力して、施工したもの。メイン会場の中心施設となる「やまびこドーム」近くの園路沿いに作庭され、日造協初の試みとして、注目されています。

◆
信州フェアの愛称は、信州花フェスタ2019～北アルプスの贈りもの～。「北アルプスの麓から広がる 花と緑に包まれた しあわせ暮らし」を開催テーマに、北アルプスを望む信州松本平から花とみどりに包まれた、しあわせな暮らしを再認識し全国へ発信し、うるおいのあるまちを未来につなげていくことを目的とし

ています。

メイン会場は、信州の自然や風土を体感し、信州の暮らしのすばらしさを実感できる会場を目指しており、出会いの広場、ハレの広場、芸術と花の森、北アルプスと花の丘、遊びの森、信州ナチュラルガーデン、信州の森、やまびこドーム、信州マルシェ、信州の山並みと花のある風景を楽しむエリアなどで構成される。

このうち、「ハレの広場」では、県内自治体や県民、市民のコンテナやハンギングバスケットなどを展示。「信州ナチュラルガーデン」では、県内造園家による出展などが行われ、暮らしの中への豊かなみどりの取り込み方を提案。「信州の庭」では、女性造園家による造園技能競技大会(仮称)も実施されます。

そのほか、サブ会場には、国営アルプスあづみの公園[堀金・穂高地区]、[大町・松川地区]、長野県烏川渓谷緑地が設けられ、暮らしに寄り添う信州の自然や風土と触れ合い体験・学習できる会場として準備が進んでいます。

◆
さらに、サテライト会場として、松本市・大町市・塩尻市・安曇野市の各市内で、同フェアと一緒に子どもたちや若者をはじめとする市民参加のさまざまな取り組みが進められます。

メイン会場とサブ会場の想定来場者は50万人を見込んでおり、開会・閉会式は「やまびこドーム」で実施されます。

ぜひ、ドーム近くの「みどりの広場」にお立ち寄りください。

緑地管理をもっと楽に!!

keyMASAO



刈幅 975 mm 刈高 0~150 mm 最大出力 20 PS
CMX2202YC
■乗用草刈機
¥980,000(税抜)



農業・建設・林業用運搬車や草刈機等の製造

本社: 〒839-1396福岡県うきは市吉井町福音90-1
TEL0943-75-2195 http://www.canycom.jp



荒野の用心棒
ジョージ

刈幅 1545 mm 刈高 0~320 mm 最大出力 51 PS

CG510 KZC

■ハンドガイド式美残刈車

¥9,000,000(税抜)



ふる
と
自慢
富山県

地元でしか味わえない一品と夜景が自慢の海王丸パーク

富山県の自慢といえば、まず思い浮ぶのは新鮮な食べ物ではないでしょうか。

その中でも、とれたてのきときと（新鮮）な海鮮類は特に自慢できると思います。刺身、寿司が美味しいことはもちろんですが、特に私が自慢したいものがあります。それは、魚津市のバイ飯です。

魚津は古くから漁業が盛んな所です。そのバイ貝を獲る漁業者が販いとして、家で作って食べていた「漁師飯」が始まりです。

バイ飯はバイ貝の旨味がたっぷりのだし汁と一緒にごぼうや人参が炊き込まれ、バイ貝には醤油が染み込み、コリコリとした食感が自慢の一品です。

バイ飯の存在は、私の姪が、大学のプロジェクトの一環として、バイ飯の宣伝活動をしてい



魚津の漁師飯「バイ飯」

たことがきっかけで知りました。また、2014年に東京・六本木ヒルズで開催された「魚の国」のあわせ Fish -1グランプリ FINALにおいて“準グランプリ”を獲得しております。

そして、バイ飯の美味しさは、魚津市の地形が織りなす水の循環もおいしさの秘訣であるそうです。そのため、富山県でしか味わえない一品であると、胸を張って言えるでしょう。



次に富山県の夜景スポットと私が自慢したいのが、射水市にある海王丸パークです。海王丸は大型練習帆船であり、「日本の海の王者たれ」と、昭和5年2月14日進水しました。



魚津漁港



射水市の海王丸パーク

事務局の動き

【3月】

- 1(金)・技能グランプリ（開会式1日、競技2~3日、閉会式4日）
- 5(火)・街路樹剪定士指導員研修会・スキルアップ研修会～6日
- ・広報活動部会
- 11(月)・技術委員会（技術・技能部会）
- 12(火)・街路樹剪定士認定委員会（試験部会）
- 14(木)・造園工事の高所安全作業標準マニュアル検討会
- 15(金)・街路樹剪定士認定委員会
- 18(月)・財政・運営部会
- 26(火)・地域リーダーズオンライン会議
- 27(水)・運営会議
- ・2019北京国際園芸博覧会日本国出展委員会
- 28(木)・総支部長等会議
- ・第2回通常理事会

【4月】

- 2(火)・広報活動部会
- 3(水)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 9(火)・技術委員会（造園技術フォーラム部会）
- 16(火)・事業委員会（全国造園デザインコンクール等推進部会）

- 18(木)・登録造園基幹技能者講習委員会（試験委員会）
- 19(金)・技術委員会（技術・技能部会）
- 22(月)・造園工事の高所安全作業標準マニュアル検討会
- 23(火)・植栽基盤診断士認定委員会
- 25(木)・第36回全国都市緑化信州フェア開会式

委員会等の活動

- 広報活動部会
- 3/5 日造協ニュース3~7月号の内容等について審議した。
- 財政・運営部会
- 3/18 平成31年度事業計画案・収支予算案について審議した。
- 技術五輪等部会
- 3/1 技能グランプリ（姫路）への協力を行った。
- 技術・技能部会
- 3/11 人材育成研修のテキストの編集、今後の進め方についての検討を行った。
- 街路樹剪定士認定委員会
- 3/15 街路樹剪定士認定試験、指導員研修会の実施結果について審議した。平成31年度開催計画についての検討を行った。

委員会等の活動

【3月】

- 1(金)・技能グランプリ（開会式1日、競技2~3日、閉会式4日）
- 5(火)・街路樹剪定士指導員研修会・スキルアップ研修会～6日
- ・広報活動部会
- 11(月)・技術委員会（技術・技能部会）
- 12(火)・街路樹剪定士認定委員会（試験部会）
- 14(木)・造園工事の高所安全作業標準マニュアル検討会
- 15(金)・街路樹剪定士認定委員会
- 18(月)・財政・運営部会
- 26(火)・地域リーダーズオンライン会議
- 27(水)・運営会議
- ・2019北京国際園芸博覧会日本国出展委員会
- 28(木)・総支部長等会議
- ・第2回通常理事会

【4月】

- 2(火)・広報活動部会
- 3(水)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 9(火)・技術委員会（造園技術フォーラム部会）
- 16(火)・事業委員会（全国造園デザインコンクール等推進部会）

ロボット芝刈機 AUTOMOWER™ 450X

NEW

緑化管理はハスクバーナにお任せ
ロボット芝刈機 AUTOMOWER™ 450X

工場・ホテル・ゴルフ場・太陽光発電・果樹園で大活躍!

✓ ワイヤーで囲まれた緑地を
全自動で管理

✓ 刈高は、20 - 60 mm

✓ 毎日少しづつ刈るので集草も不要

✓ 静音、雨もOK

ロボット芝刈機
AUTOMOWER™ 450X 570,000円(税抜)

主な仕様

バッテリー電圧 / 容量 18V / 10.4Ah
最大作業エリア 5000 m² ± 20 %
作業エリア内の最大許容傾斜角 45% / 24°
1ヶ月あたりの最大消費電力 23kWh

メーカー希望小売価格
※別途、設置費用が必要です。

芝刈り中の消費電力 35W ± 20 %
刈高 20-60 mm
質量 13.9 kg
ブレード カミソリ状3枚刃

IQの高い芝刈機
ロボット芝刈機 Automower™（オートモア）は、GPSナビゲーションを搭載しており、刈り残しなく美しい芝生に仕上げます。

Automower Connect
(Android, Apple 無料アプリ)
スマート専用アプリで、いつでも、どこからでも Automower™ の状況を知ることができ、遠隔で Automower™ を操作することもできます。

お問い合わせはお近くの販売店まで!
ハスクバーナ・ゼノア株式会社
〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9

ハスクバーナHP www.husqvarna.com/jp/
ゼノアHP www.zenoah.com/jp/

テモ実施中
ぜひ実際に触ってご体感ください!

TEL.049-243-3062
お問い合わせ先 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日除く)
info.hv@husqvarna.jp